

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
みなさま台風の被害は大丈夫だったでしょうか？気候変動の影響を感じますね。
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動していきます。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1 木村あやさん講演会 参加報告

■ 1 ■ 木村あやさん講演会 参加報告

7月30日、遺伝子組み換えナタネ自生調査運動20周年記念講演会として行われた
ハワイ大学教授木村あやさんの講演会に参加したのでご報告します。テーマは
「シティズン・サイエンス（市民科学）としての遺伝子組み換えナタネ自生調査
の意義について」です。

シティズン・サイエンスとは、科学者ではない一般市民が科学的な調査を行うこ
とを指します。このことばが一般的になってきたのは2000年以降のこと。現代に
は様々な環境問題や健康問題が溢れていて、自らデータをとりたいと思う機会が
増えていること、さらに近代科学の閉鎖性への批判としてもっと間口を広げる要
求が広がってきていることも、シティズン・サイエンスの広がりに影響している
と思われます。

近代科学の世界は中立的、客観的といわれながら、例えば女性研究者が少ないこ
と（2020年のデータで理学14/2%、工学10.6%）、経済学ではケアワークが研究の
対象にされてこなかったことを思い返せば、科学者の属性に多様性が必要である
ことがイメージしやすいかもしれません。さらに科学と私企業・市場との接近が
強まる中、市民こそ中立・客観的な立場で研究ができるという見方もされるよう
になっています。科学自体が公的な役割ではなく私企業の利益のために用いられ
ているという懸念もあります。

シティズン・サイエンスのメリットは、なによりもデータ量の拡大が挙げられま

す。データの質について問題視する専門家もいますが、参加者に適切な研修を行うことで、適切なデータを積み上げていくことができます。生活や興味に密着したデータの網羅性の向上、市民の科学リテラシーの向上、知る権利の拡大などもメリットといえます。

一方、新自由主義の広がりのなかで科学への公的助成が減少し、ボランティアに頼らざるを得ない状況が生まれています。そのような状況のなかで、シティズン・サイエンスを活用すれば市民を無料で使うことができるという考えで、必要な科学研究費が出ないことへの代替にされてしまうことには注意が必要です。また、結果に対して自己責任にすり替えられてしまうことにも注意が必要です。例えば福島第一原発事故後、放射能測定バッジを身に着けることは身を守る安全な行動につながる一方で、被ばくへの対処は自己責任だとされる恐れがありました。

シティズン・サイエンスは、社会運動の中でデータがなければ市民の声が無視されるという経験からデータをとりはじめたケースも多いです。しかし、いつの間にかデータを取ることに注力することで他の運動ができなくなったり、多面的な問題がデータで語れるものだけに矮小化されてしまう危険性があります。自分たちにとって必要なデータをどうやってとっていくのか、とったデータを自分たちの目的のためにどう使っていくのか。デモや署名運動、学習会などほかの社会運動の方法と組み合わせてこそ、シティズン・サイエンスの本領が発揮されるのかもしれません。

シティズン・サイエンスの歴史を振り返ると、長続きしなかったり、データとりが目的化し運動性を失ってしまった例も多くありました。「GM ナタネ自生調査は20年という長期間にわたり、社会運動の手段としてのシティズン・サイエンスを続けてきた稀有な例だと感じます。私の知る限り、20年続いたシティズン・サイエンスは他にありません」と木村さん。

GM ナタネ自生調査は、コープ自然派、生活クラブ生協、あいコープみやぎ、なのはな生協、パルシステム東京、グリーンコープ、遺伝子操作食品を考える中部の会の協力で、現在38都道府県で調査を実施しています。GM 反対という大きな社会運動のひとつの方法として大きな力になっていることが改めて確認されました。

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元 : きゅうしょくカンガルー! (奈良の学校給食を考える会)

E-mail : oishiikyusyoku@gmail.com

facebook : <https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

事務局 : 生活協同組合コープ自然派奈良内 (田原本町西竹田 33-1)
